



















もしわれわれが、歴史を認めたならば、資本主義を認めた如く、社会主義をも認めなければならぬ。もしわれわれがそうして社会主義を認めたならば、社会主義をかくも歴史の新しい事実として勢力付けた唯物論をも、認めなければならぬであろう。

しかしながら、われわれは、資本主義を認め、社会主義を認めたごとく、左様に唯心論を認め、唯物論を認めることは出来ないのだ。何故なら、われわれは最早やここに至ると、文学を論じているのではなくして、自個じこの世界の眺め方を論じているのだからである。われわれは個である以上、此の二つの唯心、唯物のいずれか一つをその認識力に従って、えらばねばならぬ運命を持っている。

そこでわれわれは、唯心論を撰ぶべきか、唯物論を撰ぶべきかと云うことによつて、われわれの世界の見方も変つて来る。

もしわれわれが、唯心唯物のいずれかを撰ぶことによつて、世界の見方が変るとすれば、われわれの文学的活動に於ける、此の二つの変つた見方のいずれが、より新しき文学作品

を作るであろうか。

それは少くとも唯物論もしくは唯物論的立場である。何ぜなら、唯心論及び唯心論的文学は、最早や完全に現れて了しまったからである。

もしわれわれが、此の新しき唯物論的文学を、より新しき文学として認めるとすれば、われわれは当然、コンミニズム文学をも認めねばならぬ。何故なら、コンミニズム文学は、此の唯物論を基礎とした文学であるからだ。

しかしながら、コンミニズム文学のみが、ひとり唯物論的文学では決してない。それなら、他にいかなる唯物論的文学が存在するか。それは、新感覚派文学、これ以外には、一つもなかった。

もし新しき文学が、コンミニズム文学と新感覚派文学の二つであるとするならば、そのいずれが、果して文学の圈内に於て、より新しくして広こゝか闊なる文学となるべきであろう

か。

われわれは考えねばならぬ。もしもコンミニズム文学が、曾て用いた弁証法的考察を赦すならば、新感覚派文学はコンミニズム文学よりも、より以上に明確な弁証法的発展段階の上に、位置していると云うことをも認めなければならぬであろう。何故なら、コンミニズム文学は、文学としての発展段階を無視したる文学形式であるからだ。彼らはその理想さえ主張出来れば、曾て犯した唯心論的文学の古き様式をさえも、唯々いいたくたく諾々として受け入れているではないか。そこで、彼らは、文学の圏内に於ては、ただ単なる理想主義文学と何ら変る所はない。

それで果して文学的活動は正当さを主張し得るのであろうか。もしそれで正当となすものがあるならば、コンミニズム文学は、文学の圏内に於ては、最早やいかなる発展能力をも持ち得ないと云わなければならぬ。

われわれの文学は、文学形式として、発展能力を持たない限り、一大文学とはなり得な

い。われわれは今は文学を問題としているのだ。社会を問題としているのではない。

われわれが社会を問題とせずして、文学を問題としてるとき、最早やわれわれには、コンミニズム文学は、問題から抛擲ほうてきされるべき問題たる素質を持つて来たのである。そうして、われわれの文学の新しい問題たるべきことこそは、彼らに代つて起るべき充分に文学を問題とした社会主義文学でなければならぬ。かかる社会主義的な文学は、当然、正統な弁証法的発展段階のもとに成長して来た、新感覚派文学の中から起るべき運命を持つている。

しかしながら、次に起るべき新しい文学は、新感覚派の中から発生した社会主義文学のみではない。何故なら、われわれの社会機構は、いまだ資本主義の一大勢力のもとにあるからだ。いかにわれわれが、拒否しようとも、資本主義の存在していることは事実である。此の資本主義の存在している限り、それは仮令たとえ、排撃せらるべき文学であるとしても、新しい資本主義文学の発生するのも、また当然でなければならぬ。

しかし、もしそうして資本主義文学が新しく発生したとしても、彼らは唯物論的な観察

精神をもつた新感覚派文学でなくしては、無力である。

かくのごとく新感覚派文学は、いかなる文学の圈内からも、もし彼らが文学を問題としている限り、共通の問題とせらるべき、一つの確乎かっしとした正統文学形式であるということには、先まず何なんびと人も疑う必要はないであろう。そうして、此の新感覚派文学は、資本主義の時代であろうとも、共産主義の時代であろうとも、衰滅するべき必要は文学それ自身の衰弱を外にして、どこにあるうか。



# 青空文庫情報

底本：「昭和文学全集 第5巻」小学館

1986（昭和61）年12月1日初版第1刷発行

底本の親本：「定本横光利一全集」河出書房新社

1981（昭和56）年〳

初出：「新潮」

1928（昭和3）年2月号

入力：早津順子

校正：松永正敏

2004年1月30日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 新感覚派とコンミニズム文学

横光利一

2020年 7月17日 初版

## 奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>